

# 令和元年度北海道・東北体育・保健体育ネットワーク研究会 岩手わんこそばラウンド報告書



8杯目！

令和2年2月8日(土) 岩手大学教育学部附属小学校

参加者 約30名(東京、福島、山形、北海道、岩手)

小中高の教員、学生、指導主事が、校種や立場を超えて、「指導と評価の一体化」のための学習評価の在り方について熱く語り合うことができました。

## 1 提供授業の参観と研究協議

攻守分離型のシュートゲームの授業を参観しました。1年生の子供たちは寒さに負けず、元気いっぱいセットメニューの的当てやシュートゲームに取り組みました。



研究協議では、本時の評価規準であった「ねらったところにボールを投げて、的に当てたり得点したりすることができる」姿を子供の姿から見取れるゲームになっていたか、評価方法の工夫、単元の指導と評価の計画の妥当性などについて意見が交わされ、学習評価の在り方について協議を深めることができました。



## 2 情報提供「新学習指導要領と学習評価」

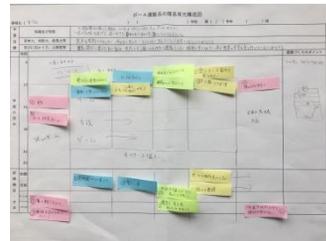
日本女子体育大学の高橋修一先生から新学習指導要領実施に向けた学習評価における最新の情報が提供されました。

単元の評価規準作成の進め方や内容のまとめりごとに2年間を見通した学習評価の在り方などについて、貴重なお話を聞くことができました。



## 3 単元構造図ワークと交流

2年間にボール運動系の指導単元を何回設定しているかについて確認をしながら、無理のないバランスの取れた指導と評価の計画を2人組になって話し合いながら立てていきました。



## 4 まとめ



桐蔭横浜大学の佐藤豊先生から、改めて単元構造図ワークのねらいを確認いただくとともに、提供授業に係る助言、診断的・形成的・総括的評価の在り方や12年間の発達の段階を踏まえた技能や思考・判断、楽しさや喜びのとらえなど、興味深いお話をたくさんお聞きすることができました。

## 5 情報交換会

情報交換会には、13名からスタートし、約30名の参加がありました。他県の先生方からの刺激もいただき、大いに盛り上がりました。

来年度は、わんこそば大会の開催も決定しましたので、奮って参加いただきたいと思います。